

2025年度 メリー★ポピinz 成増ルーム 事業計画書

I. 基本方針

理念

「にんげん力。育てます。」

子育て目標

「センス・オブ・ワンダー」「人対人コミュニケーション」

・私たちが育てている6つの力

- ① けがをしない強い体を育てる（裸足保育・座禅・雑巾がけ等）
- ② 自分でできることを自分でする（畳仕事・縁側給食等）
- ③ 全ての人との関りから判断・行動に身につける（青空保育・商店街ツアーア等）
- ④ 活動を選択し自分で考えて行動する（火と関わる・水と関わる等）
- ⑤ 生死をする 食の循環を知る（生死教育・食材と食の循環を知る等）
- ⑥ 感じたこと・考えたことを表現する（言葉を表現する・描く・つくる等）

法人の理念・目標に基づき保護者・地域・保育園が相互に関わりながら成増ルームを知ってもらう場を作り地域の方々と共に保育を行っていく。

〈1〉保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	計画・ねらい 子どもが生活力を体得できる環境を作る
	実践予定内容	道具の扱い方・遊び・歌をうたうこと等を保育者が常にやって見せる環境を作る。生きる力（感情制御力・人と関わる力）を育むために、保育者の見守りのもと様々な経験と失敗を体験する場をもつ。
2	計画・ねらい	保育所保育指針にて育むように定められた10の姿を体得できる環境を作る
	実践予定内容	まず職員が10の姿について語れる知識を付け、子どもたちの共同性・社会性・規範意識の芽生えを大切にし園全体で共有する。
3	計画・ねらい	保護者的心に入り込んだ接遇・保護者がいつ見ても気持ちが良い施設を目指す
	実践予定内容	清掃を自分事として捉え、身の回りのゴミを進んで拾う等の自主的に動く職員集団を目指す。

〈2〉保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	園と家庭の共育を行なう
	実践予定内容	子どもを真ん中に、保育者と保護者が手を取り合い支え一緒に子育てを行う。子どもに楽しいと思う体験、愛されている実感を感じ取れる環境を協力して作り上げる。
2	計画・ねらい	自園の強み・特徴を生かした園や子どもの姿の記録と公開
	実践予定内容	アプリのタイムラインで保育を伝えポートフォリオで子どもの心情・意

		欲・態度を伝えていく。SNSでの保育の見える化を図る。
3	計画・ねらい	一人ひとりにあった離乳食を提供する。
	実践予定内容	家庭との連絡を密に行い、発達に応じて適宜見極める。嚥下と咀嚼について理解を深め個々に応じて離乳食を進めていくアドバイスを行う。

〈3〉 地域の子育て支援事業

1	計画・ねらい	地域の子どもに遊び場を提供し保護者同士の交流の場所となる
	実践予定内容	子育てサロン・青空保育・見学を通して子育ての悩みを受けながら地域に根付く関係を構築する。
2	計画・ねらい	シニア交流・職場体験等の異世代交流を行い開かれた保育園を目指す
	実践予定内容	地域での様々な人対人のコミュニケーションを通し身近な存在になり、園を知ってもらう。

〈4〉 次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	保育者の主体性を培う
	実践予定内容	自ら学ぼうとする意欲の元、その学びを園に展開し園職員全体が向上していく集団を目指す。
2	計画・ねらい	子どもの人権を理解する
	実践予定内容	園内研修煮て学びを深め現状の子どもたちとの関わりについて振り返る機会を設ける。人的環境の重要性を意識する保育を展開する。
3	計画・ねらい	大人のにんげん力UP
	実践予定内容	チームを感じてもらうべく各々の得意とする項目を意識し保育にあたる。またそれを全職員が受け止め相、年間を通してみんなで補いあえる関係性を目指す。

〈5〉 環境実施目標

1	計画・ねらい	五感で畑を体験する
	実践予定内容	種まき・水やり・収穫を通し野菜への興味を培う。土に触れ免疫を獲得し菌に強い体を育てる。
2	計画・ねらい	野菜の下処理を日常的に行い野菜に触れる
	実践予定内容	当日の昼食に使う野菜に触れ、野菜の名前の興味を育み、下処理（皮むきなど）を行う。

〈6〉 選ばれる園をつくる

1	計画・ねらい	認証保育所として地域の待機児童解消に努める
	実践予定内容	戸外活動時の地域子育て家庭への言葉掛けを通し、保護者、地域、自治体の方から愛されるよう各々ができる限りの働きかけを自発的に行う。また、定員に空き枠が出た際にはすぐに掲示し待機児童を入園に導く。
2	計画・ねらい	来訪者にとって気持ち良い対応を心掛ける。

	実践予定内容	自分が来訪者になったケースを考え、どう対応されたら嬉しいかをイメージを実践し美観に努める。
3	計画・ねらい	スタッフがやりがいを持ち働きやすい園になる
	実践予定内容	スタッフ一人ひとりのやりがいに寄り添い心を開きあえる関係性を目指す。お互いの良いところを認め合い心理的安全性を担保する。

2. 施設運営

〈1〉施設情報

児童定員

0歳児	1歳児	2歳児	合計
6人	12人	12人	30人

〈2〉開所時間

7時00分～20時00分

〈3〉スタッフ構成（3月1日時点）

常勤 スタッフ	保育士	6人	栄養士	1人
パート スタッフ	保育士	3人	調理	0人

3. 運営方針

〈1〉施設内会議の開催(勤務時間内)

施設内会議名	頻度	会議内容
園会議	月1回120分	提案と意見交換・園内研修・会議報告・ディスカッション
給食運営会議	月1回	離乳食進行検討・食べたくなる意欲を育む環境ディスカッション
事故防止委員会	月1回	園内外における事故・ヒヤリハット・インシデント事例を基に事故予防と防止の具体的な策を検討
ケース会議	月1回	気になる子についての情報共有と保育方法の確認・検討
担任週会議	週一回	保育、行事計画立案・子どもの姿共有

〈2〉 法人指定施設外会議への参加(勤務時間内)

施設外会議名	頻度	会議内容
施設長会議	月1回	法人全体での運営課題の解決、情報共有
施設長勉強会	月1回	業務改善、マネジメント、保育内容の充実を図る検討
食育会議	年4回	給食提供および食育に関わる検討
保健会議	年4回	児童保健に関わる検討
子育ての質を上げる会議	月1回	法人内系列園と実践共有や保育内容の充実を図る検討

〈3〉 各種係の設置

係名	職務内容・役割
衛生管理係	園内備品管理・発注
安全対策係	防災実施点検・設備点検・事故防止点検の実施
防火管理者	災害対策・消防計画に則った避難訓練の実施責任・自主点検の実施
食品衛生責任者	給食提供責任・食材の安全衛生管理
畠係	年間計画に基づいた畠活動の実施、計画の振り返り、畠管理
生き物係	飼育動物の環境管理、餌の管理・発注

〈4〉 行事別係の設置

係名	職務内容・役割
どろんこ祭り係	計画・・買い出し・当日進行・どろんこサポーターとの連携

4. 保育方針

〈1〉 基本方針

乳児保育	上半期 0～2歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の生理的欲求に応え、保育者と情緒的な安定した信頼関係を築く。 ・個々の発達を把握し、十分な探索活動が出来る環境を保証し、外への興味に繋げていく。
------	--------------	--

	下半期 0～1歳児	・子ども自らが自発的に活動し、様々な経験を積み重ねる。 ・身近な人との応答のある安定したかかわりの中で、十分に身体を使い、満足感の得られる遊びをしていく。
保育参加	4～3月	希望保護者による保育参加/参加後アンケート記入依頼
保護者面談 発達相談	随時	・随時、希望する保護者に対し実施 ・「保護者面談記録」「子育て相談記録」を活用
意見・要望への対応	随時	・連絡帳、口頭でのご意見についても苦情対応マニュアルに従い「ご意見ご提案シート」を活用
運営委員会	年2回	6月13日と11月14日に実施予定

〈2〉年間行事計画

- ・2025年2月及び3月に開催の「年間計画策定会議第1回・第2回」にて決定し、別紙「2025年度年間スケジュール」に掲載
- ・保育参加・保護者面談は随時開催

〈3〉給食・食育運営方針

1	計画・ねらい	子どもの食欲と意欲を育てる
	実践予定内容	十分な遊びから自然とお腹が空く子、意欲的に食べる子が増えるよう生活の中で保育者、栄養士と食事作りや準備に関わり、子どもの食への関心を広げる。
2	計画・ねらい	給食残渣の削減を計画し、振り返る
	実践予定内容	子どもが自分たちで盛り付け、配膳して食べる事を基本として、自分の食べられる量を調節していく。
3	計画・ねらい	実体験を通して食や食の循環について興味関心を持つ
	実践予定内容	畑活動から作物が育つことのうれしさや喜びを感じられるようにする。加工食品（梅干し・味噌・たくあん・干し柿など）を作り給食やおやつで実際に食べてみる。

〈4〉保健計画

園児健康診断	年2回（6月・11月）
保健だより	月1回（25日）発行
スタッフ健康診断	年1回
スタッフ検便	全スタッフ月1回（5日）
園児への保健指導・取組等	歯磨き指導・手洗い、うがい指導

流行が予測される感染症	通年…新型コロナウイルス・インフルエンザ 感染症予防のためのうがい・手洗い指導、定期的な換気と消毒の実施 6月頃…手足口病、アデノウイルス 12月頃…嘔吐下痢、インフルエンザ
発作・痙攣等の対応のための薬の預かり	ダイアップ…1名より預かり済み／冷蔵庫内にて保管
エピペン使用できるスタッフ	本日現在7名が、研修受講し、修得済み 未受講の新入職員2名については4月18日までに受講予定
AED使用できるスタッフ(AED設置施設のみ)	本日現在7名が、研修受講し、修得済み 未受講の新入職員2名については4月18日までに受講予定
その他保健に関する取組	嘔吐処理・オムツ替え手順研修等を必要に応じて実施

〈5〉各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	防災自主点検 (備蓄品点検含む)	年2回／6・12月の25日
	避難消火訓練	毎月1回／15日
	不審者侵入訓練	年2回／6・12月の25日
	情報セキュリティチェック	年2回／5・11月
	誤飲・誤嚥防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日
	衛生管理点検表／毎月	毎月10日
	個人衛生点検簿／毎日	毎日業務開始前
	検便・細菌検査	毎月1回／5日／全スタッフ
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認 ／保険証期限確認	年2回／4・10月
	身長体重測定	毎月1回／20日
	児童健康診断	内科健診 年2回／6・11月

運営管理	児童・保護者の人権に関するチェック	年2回／4・10月の園会議時
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間
	利用者アンケート調査	年1回

〈6〉環境整備

1	計画・ねらい	自ら経験を選び取ができる物的環境の設定
	実践予定内容	保育者が一定の距離を取り見守る“もの”を常設することでトラブルを経験し折り合いをつける力が育まれていくのを目指す。
2	計画・ねらい	安全な環境で遊べるべく十分な点検を行う
	実践予定内容	毎日の清掃作業の際に点検を行い。破損場所、修繕を要する場所の確認を細やかに行う。

〈7〉手作り遊具・家具安全点検計画

手作り遊具・家具一覧

No	遊具・家具名	設置場所	点検予定期
1	ままごと台	室内	毎日

5. 危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	実践予定内容	・消防計画に基づき、自衛消防隊を編成し防災訓練を行う。・定期的に火災・地震発生時のマニュアルの読み合わせを行い、避難方法の確認を行う。
2	実践予定内容	安全計画に基づき事故防止チェック、設備点検チェックの実施。
3	実践予定内容	ヒヤリハット・インシデントの検証を行い、再発防止に努め、その都度保育の見直しを行う。
4	実践予定内容	・年2回の不審者侵入訓練の実施。あらゆる場合を想定し、職員で連携し対応できるようにする
5	実践予定内容	光化学スモッグが発生しやすい気象条件・注意喚起を把握し、発生時に迅速な対応をする。
6	実践予定内容	年4回(4月・7月・11月・1月)見直しをする。危険個所や道路状況の変更をその都度見直しを実施する。

6. 実習生・中高生の受入

〈1〉 今年度方針・テーマ

世代育成の観点から積極的に受け入れを行い、実習生や生徒の一人ひとりの様子に合わせて具体的かつ家庭的に援助・指導を行う。また、実習やボランティア活動の実施に際し、法人理念や地域における役割などを説明することで園の地域施設としての役割について周知・理解の深耕に努める。

1	実践予定内容	実習生…保育所保育指針をベースとし、保育品質マニュアルに基づいた保育方法の実践指導を行う。
2	実践予定内容	職場体験…子どもと遊ぶ楽しさから用語と教育の実体験を提供する。
3	実践予定内容	ボランティアの受け入れを積極的に行い。保育や福祉の現場に興味関心を向ける。

7. スタッフ育成と研修計画

〈1〉 2025年度 園内研修計画

(毎月開催の園会議の時間内を使用して自園にて実施)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	ねらい・共通理解する保育課題
4月11日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 戸外活動時人数確認ロールプレイ ③ ハザードマップ見直し	ハザードマップ見直しを第一に行い戸外の危険性やルールを再度確認し合う。
5月9日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② さくらさくらんぼリズム	リズム体操の意味や動きを知る
6月13日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 水遊び・プール研修	水での事故やプールの流れを確認しロールプレイを行う
7月11日	18:00～20:00	② コンピテンシー自己採点 ② 室内環境・ハザードマップ見直し	ハザードマップ見直しを行い戸外の危険性やルールを再度確認し合う
8月8日	18:00～20:00	② コンピテンシー自己採点 ③ マニュアル確認	フローチャート等見直しをする
9月12日	18:00～20:00	② コンピテンシー自己採点 ③ 園長大学視聴	動画視聴を行い新たな学びを得る

10月10日	18:00～20:00	② コンピテンシー自己採点 ② ハザードマップ見直し	ハザードマップ見直しを行い戸外の危険性やルールを再度確認し合う
11月14日	18:00～20:00	② コンピテンシー自己採点 ② 嘔吐処理ロールプレイ	感染症が流行する前に手順の再確認し、ロールプレイをする
12月12日	18:00～20:00	② コンピテンシー自己採点 ② 園長大学視聴	動画視聴を行い新たな学びを得る
1月9日	18:00～20:00	② コンピテンシー自己採点 ② ハザードマップ見直し	ハザードマップ見直しを行い戸外の危険性やルールを再度確認し合う
2月13日	18:00～21:00	第1回策定会議	顔合わせ・次年度の園目標
3月1日	9:00～18:00	第2回策定会議	次年度の行事等の計画決め

エリア研修予算内訳（6園合同開催）

開催日	予算	予算の内訳		6園で按分した自園負担額
4月12日	0円	講師代（交通費含む）	0円	0円
		個人負担費	1600円	
11月8日	7700円	講師代	6200円	板ど/大山/中板/成増/東練/バジ
		講師交通費	1500円	
合計	7700円			0円

〈2〉外部研修への出席

事業継続に必要な外部研修については、承認を得たうえで出席する。

〈3〉法人支援制度の活用・出席

大学講座および社内限定公開講座	
全社員研修	9月～11月までの間に録画視聴（全スタッフ対象）
リーダー養成研修	選ばれたスタッフが参加予定
デスマーケティング	希望するスタッフが応募

〈4〉スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝える。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をする。

8. 地域交流計画

〈1〉今年度方針・テーマ

子どもたちが地域の中で、幅広い世代のより多くの人々と関わり合うことが健全な育成の観点から重要なことを踏まえて、地域交流計画に基づく活動を行う。活動を通して、子どもたちが地域に愛着を持ち、地域の方が子どもたちを地域にとってかけがえのない存在であると認識してもらえるよう職員も地域の方と積極的に交流し、温かい支援に対する感謝の気持ちをしっかりと伝えることを心掛ける。

〈2〉具体的な地域交流計画

活動行事	詳細
どろんこ祭り	年1回 集客目標：50名
青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：成増児童遊園にて 集客目標：10名
商店街ツアーア	週1回
世代間交流	クローバーのさとにて高齢者の方との交流(月1回)
異年齢交流	近隣系列園との交流
地域拠点活動	ちきんえっぐ(月1回土曜日)・青空保育(月1回)

9. 小学校との連携の計画

該当なし

I 0. 要支援児計画

〈1〉 個別支援計画の作成・見直し

個別配慮の必要な児童は、個別支援計画を作成し、担当職員だけにとどまらず、園会議にて情報共有する。

〈2〉 毎月のケース会議開催

(4～3月に計12回開催予定 参加者：2～4名予定) 毎月の園会議に先立ち、関係機関とも連絡を取り合い担当職員中心として施設長・主任・栄養士が参加する

〈3〉 進級引継、および、小学校への引継

進級時の引継ぎは、児童の個別記録を見ながら、現在の子どもの様子を共有する。

I I. 子育て支援事業

園に来訪した親子に都度署名をもらい、月間延来場者数を自治体に報告する。

実施項目	詳細
園開放	(月)～(土) 9:30～16:30 集客目標：10名
子育て相談	(月)～(土) 13:00～16:30 集客目標：10名
ちきんえっぐだより	毎月1日発行
青空保育（支援センター主催）	月1回 公園名：成増児童遊園にて開催 集客目標：10名

I 2. 園運営の向上

〈1〉 福祉サービス第三者評価の受審

受審予定なし

〈2〉 園による自己評価の実施

2026年2月21日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り自己評価を実施予定である。

自己評価開始予定時刻：15時00分

自己評価終了予定時刻：18時00分

自己評価実施予定者：施設長・当日勤務スタッフ

〈3〉利用者アンケートの実施

施設利用保護者に対してアンケートを実施し、評価結果を開示する。

アンケート配布予定日：8月25日

| 3.3カ年計画の具体化

〈1〉昨年度の振り返り

3月末まで に目指した姿	重点施策	地域に開かれた施設になる
	振り返り	接遇や美観を提供できたことで、次年度も引き続き入所率100%に繋がっている。SNSの情報発信をし、園の保育の見える化を深化することができた。

〈2〉当年度以降の3カ年計画

25年度	目指す姿	生活の流れが定着し、異年齢で生活することで子ども自身が自ら行動できことが増えてくる
	重点施策	子どもの気持ちを素直に受け入れ子どもの自主性と主体性が育つよう守っていく
26年度	目指す姿	板橋区・練馬区の子育て主要拠点となる
	重点施策	近隣地域の方のみならず、板橋区・練馬区の子育て世帯の方々が集い子育ての仲間の輪を広げられるような機会を多く作る。
27年度	目指す姿	板橋区の認証保育所として選ばれる園のモデルになる
	重点施策	待機児童解消に努め常に満床を継続し続ける。月極、一時預かり共に選ばれる園を目指すべく子ども・保護者との安定した信頼関係を築く

以上

作成日：2025年3月15日 作成者：メリーグローブピングズ成増ルーム 施設長 山中 智絵